

私学助成署名推進ニュース

全国私立学校教職員組合連合
No.38 2016年11月19日(月)

茨城県議会へ署名提出 議会、議員への参加者の声とともに

すすめる会ニュース No.3

発行日 2016年12月8日

発行元：私学助成をすすめる茨城県連絡会議
連絡先：鹿島学園 鹿嶋市宮下2-12-31 奇丸ビル2F
はなのわ幼稚園 ひたちなか市東石川 新堀2759-2

すすめる会ニュース No.4

発行日 2016年12月15日

発行元：私学助成をすすめる茨城県連絡会議
連絡先：鹿島学園 鹿嶋市宮下2-12-31 奇丸ビル2F
はなのわ幼稚園 ひたちなか市東石川 新堀2759-2

茨城県議会 議長請願 私学助成署名 20,162 筆を提出



12月1日、議長請願が行われました。当日は、私学の理事長、教員、父母、私教連の9名が参加しました。

請願前に各会派を回り議員と懇談し、署名の趣旨を伝え紹介議員になってくれるようお願いしました。懇談の中で、「趣旨は理解している」との声が多くありました。

上野高志議員(共産)、江尻加那議員(共産)、山中たい子議員(共産)の3名に紹介議員になっていただき、私立高校や幼稚園、街頭署名等で集

めた20,162筆の署名を小川一成議長に提出しました。短時間ではありましたが、署名の一筆一筆に目を通してもらうとともに、父母の思いや私学の現状などを直接伝えることができました。

2万人超署名添え
助成拡充求め請願
私立学校保護者の
県内私立学校の保護者、
教職員、学校代表らでつく
る「私学助成をすすめる県
連絡会議」は1日、私立学
校に通う子どもがいる家庭
への助成拡充を求める請願
書に2万1千6人分の署名
簿を添えて、県議会の小川
一成議長に提出した。
請願は、私学への経費費
助成の増額▽授業料軽減制
度の拡充▽認定こども園や
保護者への支援拡充の3
項目。同会議は「生徒と保
護者は高い学費負担、公私
間格差を強いられる。私
学負担の自治体間格差も
存在している」と述べて

議長請願の様子 茨城新聞 2016年12月2日

◎ 国向け署名については、年明け1月末まで引き続き集めています。一筆でも多くの署名を集めて国に届けましょう!

この運動の始りかたを思うと
即座金額は、署名数にも
複雑に思いがわきます
と私にしても、県会議員も体質変り
なところあるから、カッカリして
いつか、あつたえたい。海蔵

署名をしている時点では
県や国に自分達思いを訴えろ
というのが「ボヤリ」しかなく、
できていなかったのが、実際に
議長に提出する形にならなくて
このやうな形になっていくのだと
いうことが、カッカリ免強に感じました。

補助金の増額によって、先生の職場環境を
整え、親の負担が少しでも減る様よ
みんがで考えたいからには、ならないと思
いました。お金を失くせば、多分子供が登校し
ない学校に変わって、お母さんです。
公立、私立の格差を縮める事は、子供達の未来
を大きく左右します。
埼玉県では高校入学金が無償化が実現された。
茨城県も請願を行った事は、鬼強にもなりたい。良い
結果を期待しています。

顧問に思ったのが、市への請願
はどうかという事
市町村による補助金の削減のため。

県議会 議長請願 参加者から感想が届きました

私立幼稚園は保護者の保育料だけ
には余裕があるとは言えません。
私学助成運動は、単に私たちの保育料負担の
軽減を願うものではなく、県や国からの園への補助
増額を訴える、これは我が子の大切な
学びの場とこれからの安心に存続させるため
とても大切な意味があるのではないか
今回知りました。請願に参加してよかったです。

署名を集めて、小川議長に提出する
ことが、自分の中ではゴールのように
感じていましたが、今回初めて県議
会請願を体験して、より良く変えて
いくためには、まだまだ道のりは遠い
のだなと、思わざるべきことのある
事と感じました。

忙しいのに、振舞う議員の対応に
気がおくれしている自分がいまして。
もし、これに20人、50人、100人のお母さん達
がいれば……。正しいと自信を持って
言えることでも、沢山の運動を動かす
には「教員」の力が「必要」と感じました。
それは、請願に行くと、人の数だけ、
署名の数が伸びる。
今年も、信じて頑張ります。
皆さんで行きましょう。